



## 笑顔で挨拶をする学校

校長 中根 隆弘

表題にある「笑顔で挨拶をする学校」は、本校における“四つの誇り”の一つです。‘誇り’とは、自らそれを名誉とする感情のことです。多くの生徒たちが、「戸塚西中学校の自慢は何ですか？」と聞かれた時、「笑顔で挨拶ができることです。」と答えてくれたらとても嬉しいことです。

私は校長として、この開校以来、脈々と受け継がれてきた伝統を、維持・発展させたいと強く願っています。そんな思いを抱きながら、毎朝、登校してくる生徒たちと挨拶を交わしています。「おはようございます。」・・・ひたすらこの言葉を繰り返します。何百回も・・・。最後の方は、のどが疲れて声がかすれたりひっくり返ったりします。

こんな生活を日々繰り返しているうちに、ある疑問が頭の中をよぎるようになりました。

「挨拶」って何だろう・・・？

そんな疑問が沸き起こったのは、たぶん生徒の皆さんの反応からなのだと思います。

生徒の皆さんは、実に様々な挨拶をしてくれます。遠くから「おはようございまーす!!」と元気よく挨拶をしてくれたり、「おはようございます。」と投げかけるとニコッと微笑んで挨拶を返してくれたり、恥ずかしそうにペコッとお辞儀を返してくれたりと実に様々です。そんな皆さんと挨拶を交わしながら、心が揺さぶられている、そんな自分に気がきます。元気な声で挨拶をされると、それ以上の声で挨拶を返したくなりますし、ニコッと微笑んで挨拶をされると、思わずこちらも笑みがこぼれ何とも言えない幸せな気分になります。

きっと、それは、ちょっとした一言の中に、様々な感情が働いているからなのでしょうね。相手への優しさ？ 心配り？ ...そんな皆さんの気持ちが、顔の表情や声などにのせて、きっと私に伝わってくるのだと思います。だから心が揺さぶられるのです。そして私も、そんな皆さんの優しさや心配りに感謝して「おはようございます!!」と返します。

「挨拶」って何だろう・・・？ 生徒の皆さんと挨拶を交わしている状況を思い浮かべていたら、自分なりの答えが出てきました。・・・『挨拶ぬきで人間関係が始まることはあり得ない。』『心と心の架け橋をつくる入り口が挨拶。』『挨拶は自分の心を開いて相手に近づく第一歩。』『挨拶は、自分自身が元気になる特効薬。』などなど、たった一言の挨拶に含まれる意味は計り知れません。・・・これが答えです。もっと言ってしまえば、挨拶は、その人の人生を変えてしまうほどの力もあるのです。

こんな話を聞いたことがあります。「芸人として才能がないから辞めさせよう。」と、演出家の指摘で、ある青年が劇場から追い出されそうになった時、「彼の挨拶は快い。辞めさせないで!」と青年をかばう声が上がり、無事に彼の首はつながったというもの、・・・後のコメディアンのスーパースター、萩本 欽一 氏の実話です。

さあ、戸塚西中学校の誇りは、笑顔で挨拶ができることです。これからも素敵な笑顔で挨拶を交わしていきたいですね。しなければいけないから挨拶をする、ではなく、お互いの心が通じ合う、自分の心が温まるから笑顔で挨拶をする・・・、「花と緑と心ふれあう学び舎」の‘心ふれあう’とは、きっとそのようなことなのだろうと私は確信しています。